

さあ、Scienceの帆を上げよう！！ は、全校生徒に募集しその中から選ばれたSSHのキャッチコピーです。本校校歌にある「徳の帆を上げ知恵の舵」に由来するものです。

特集：1学年自然観察フィールドワーク

信州大学特任教授 渡辺 隆一 先生講演会

1学年自然観察フィールドワークの事前学習として、5月29日(水)に信州大学特任教授の渡辺隆一先生をお迎えして講演会が開催されました。フィールドワークで訪れる鍋倉山は、ブナ林が生い茂る里山であって、ブナ林の特徴をよく観察し、「山」と「里」の関係性を学ぶことによって、ブナ林の成長サイクルやそこに棲む人々の生活スタイルが見えてくるという主旨のお話でした。生徒たちは、フィールドワークを心待ちにしながら、熱心にメモを取りながら聴講していました。



写真左：講演を聴く生徒たち



右：渡辺隆一先生

SSH 課題研究 全国優秀賞受賞！

5月19日(土)に横浜市で開催された「日本地球惑星科学連合大会2013」において、高校生によるポスター発表部門で、本校理数科3年4組の山本恵花さんと富井海さんが「優秀賞」を受賞しました。これは全国から出品された67作品中、第2位にあたる快挙です。2人は同じく3年4組の小林夏希さん、齋藤麻衣子さんと一緒に、地学科黒岩寛明先生の指導の下、「野沢温泉における温泉沈殿物」の研究に昨年度から取り組みました。今後も、本校の課題研究の中から、全国的にも高い評価を受ける研究が現れて欲しいものです。



写真左：授賞式



右：教科横断授業の様子

ご意見・ご要望はこちらへ

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 2610 番地

TEL 0269(62)4175 FAX 0269(81)1072

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/iikita/>

E-mail [iikita@nagano-c.ed.jp](mailto:iikita@nagano-c.ed.jp)

フィールドワークの実際(1組担任栗原聡先生寄稿)

6月27日(木)は1,3組、6月28日(金)は2,4組が自然観察フィールドワークを行いました。大変天候が心配されましたが、両日ともに晴天となり、大変さわやかな高原の1日を過ごすことができました。2クラスをブナ林調査6班、水生昆虫調査2班、バードウォッチング2班、飯山の大地2班に分けそれぞれにインストラクターの先生方がつき、午前中は調査実習をおこない、午後は調査のまとめ・発表という流れでした。

午前中の調査実習では、なべくら高原自然の家周辺で計測や採集活動を行いました。こうした調査は地道な作業であり骨の折れるものですが、新たな発見もあり、生徒たちは楽しみながら実習をしていました。水生昆虫調査班では、童心にかえて川の中でいろいろな生き物を根気よく採集していました。昆虫だけでなく沢ガニやカジカなども捕まえた生徒もいました。バードウォッチング班も、たくさんの鳥を確認できたようでした。午前中の調査をまとめた後、班ごとに発表を聞くとそれぞれ新鮮な驚きがあった様で、とても有意義な実習になったようです。ご指導いただいた先生方、ありがとうございました。



写真左：インストラクターの先生方



右：ブナ林調査班

SSH 教科横断授業(長良聖子先生寄稿)

6月26日~7月17日にかけて、1学年を対象にSSH教科横断授業が行われました。今年のテーマは「地域で(local)

地球規模で(global)」。国語科では、ピジン・クレオールという言語現象に関する評論を読み、世界の言語の中の日本語という視点から、過去と現在と未来の日本語について改めて考え直してみました。授業後には「世の中のグローバル化が進んでいるから、日本語も変化せざるをえない。」「いろいろな思想が組み合わさって新しい言語になっていくことは大変興味深い。」「現代の日本語でも、ピジン化が起こっていることに気がついた。」「日本語が無くなってしまいそうで悲しい。」など様々な感想が寄せられました。島国日本の言語も、常に他の文化の影響を受けながら変化していることに気づいたのではないのでしょうか。